

投票番号
3

沼津の肖像（撮影会＋展示＋懇親会）

1. 広報ぬまづやSNS等を使い幅広い参加者を募集。
2. 沼津の魅力的な場所を、観光ボランティアガイドなどの話を聞きながら歩く撮影会を開催。
3. 撮影した写真をプリントし写真展として街中の施設に展示をする。
4. 展示期間中に懇親会も開催し様々な人が交流する機会をつくる。



事業の
ねらい

沼津の魅力的な場所を話を聞きながら歩くことで、見過ごしがちな沼津の価値を再発見し、ギャラリーなどのリアルな空間や、SNSなどのオンライン上でも発信することで、人の交流を促す効果的な情報発信を行う。

沼津市民間まちづくり活動支援事業 応募申請書

令和8年 1月 26日

(あて先) 沼津市長

沼津市民間まちづくり活動支援事業の助成を受けたいので、以下のとおり応募します。

申請者	団体名	沼津未来クリエイティブ			
	住所	沼津市大手町 4-5-12 うるわしビル 2F NDC 内			
	代表者	職(肩書)	会長	氏名	原 清人
	担当者	佐藤 智明			
	連絡先	電話：090-3685-9332 メール：hoop310@gmail.com			

事業区分 ※応募する事業区分にチェックして下さい。	ソフト部門	<input type="checkbox"/> スタート支援型事業
		<input checked="" type="checkbox"/> ステップアップ型事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続)
		<input type="checkbox"/> 学生チャレンジ型事業
	ハード部門	<input type="checkbox"/> 施設整備一体型事業
	いずれも	<input checked="" type="checkbox"/> マチナカチャレンジとして応募 ※条件は応募の手引きを参照

事業名	沼津の肖像
事業目的・概要等	<p>※事業の目的・概要を200字~300字程度にまとめて記載してください。 (誰に、どこで、どのような事業を行うのか明確にしてください)</p> <p>「沼津の魅力ある場所のPR、情報発信活動」</p> <ol style="list-style-type: none">沼津未来クリエイティブや、リブランディング塾のメンバーをはじめとしたリアルなつながりと、SNS等による呼び掛けで参加者を募集する。沼津の魅力ある場所を、観光ボランティアガイドなどの話を聞きながら歩く撮影会を開催。撮影した写真をプリントし写真展として街中の施設に展示をする。展示期間中に懇親会も開催し様々な人が交流する機会をつくる。

事業費	総事業費	補助対象事業費	補助金申請額
	405,000円	405,000円	300,000円

確認事項	<p>応募申請にあたり次の事項について確約及び同意します(□にチェック)。</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 沼津市民間まちづくり活動支援事業補助金交付要綱の内容に従うこと。<input checked="" type="checkbox"/> 沼津市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団、暴力団員でないこと。<input checked="" type="checkbox"/> 沼津市が、申請者の納税状況に関する資料の調査を行うこと。
------	--

事業計画書

事業名	沼津の肖像
実施場所	沼津市内各地（まちかどアートギャラリー・吉田温泉ほか）
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和8年 4月 18日 ～ 令和9年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

「沼津の魅力ある場所のPR、情報発信活動」

1. 沼津未来クリエイティブや、リブランディング塾のメンバーをはじめとしたリアルなつながりと、SNSや広報ぬまづなど様々な手段で呼び掛けて参加者を募集する。
2. 沼津の魅力ある場所を、観光ボランティアガイドなどの話を聞きながら歩く撮影会を開催。
3. 撮影した写真をプリントし写真展として街中の施設に展示をする。
4. 展示期間中に懇親会も開催し様々な人が交流する機会をつくる。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

昨年行なった沼津の魅力ある場所のPR、情報発信活動を引き続き継続する。

車移動では気づきにくい地域資源を「歩く・撮る・伝える」体験を通じて再発見する。

オンライン・オフライン双方での情報発信と交流を促進し、地域の魅力を多角的に伝える。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。
4月	展示準備（レイアウト確認・プリント・展示用品確認、人員手配）
5月	「吉田温泉」にて展示（来場者への対応）
6月	まちかど撮影会第1弾計画（撮影場所、役割分担、実施時期確認）
7月	参加者募集案内開始（SNSや広報ぬまづで案内）
9月	まちかど撮影会実施（工程確認、食事場所の手配、集金、案内人への謝礼）
10月	展示準備（レイアウト確認・プリント・展示用品確認、人員手配）
11月	「まちかどアートギャラリー」にて展覧会・懇親会
12月	まちかど撮影会第2弾計画（撮影場所、役割分担、実施時期確認）
1月	参加者募集案内開始（SNSや広報ぬまづで案内）
2月	まちかど撮影会実施（工程確認、食事場所の手配、集金、案内人への謝礼）

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載してください。</p> <p>沼津の魅力発信による地域イメージ向上</p> <p>地域外からの参加者増加、移住検討者の創出、移住者の離脱防止</p> <p>参加者数・展示来場者数の増加</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>撮影会参加人数：25名</p> <p>展示来場者数：500名</p> <p>懇親会参加人数：20名</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>各施策参加者の人数および展示開場への来場者数をカウントし集計する</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>沼津市は、豊かな自然や歴史的資源を有しながらも、地域内外への情報発信が課題となっている。沼津の新たな魅力を発信・発信することで、地域の活性化と価値向上に寄与する。</p> <p>特に「まちかどアートギャラリー」や「吉田温泉」など、まち中で展示を行うことで、多様な世代・属性の人々が交流する場を創出し、不特定多数の利益につながる質の高い事業を目指す。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>車移動では気づきにくい地域資源を、実際に歩きながら再発見することで、地域住民自身がまちの魅力を再認識できる。</p> <p>また、観光ボランティアガイドや「omusubi」「吉田温泉」などの地域資源の活用例を見学し、地域のリノベーション施設と連携を図る。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>「歩く・撮る・伝える」という一連の体験設計は、単なる写真展や観光イベントにとどまらず、参加者自身がまちのストーリーテラーとなる新しい地域プロモーションの形と言える。観光ガイドの解説と撮影体験、展示・懇親会を組み合わせることで、沼津ならではの独自性とチャレンジ精神を体現する。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>昨年度の実績を踏まえ、関係者との連携体制やスケジュール管理、予算計画も具体的に策定。法令遵守や安全対策にも十分配慮し、参加者・協力団体との調整も円滑に進められる体制を整えて実施する。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>本事業を通じて、地域外からの参加者や移住希望者の増加、リノベーション事例の見学など、沼津の資源活用や波及効果が期待できる。今後も継続的な活動を通じて、地域の魅力発信とコミュニティ形成を推進する。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後は、継続的な撮影会や展示イベントの開催に加え、参加者同士のネットワーク強化や、地元企業・団体との連携による新たなプロジェクト創出を目指す。また、助成金や協賛企業の獲得など事業の自立・発展を図る。将来的には、沼津市全域や近隣地域への展開、オンライン発信の強化など、より広範な波及効果を目指す。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

●実績評価

昨年度は、『撮影会』では当初目標としていた参加者数を達成。東京・神奈川・静岡・裾野など広域からの参加者を迎えることができた。参加者からは「沼津への移住を本格的に考えようと思った」「地元の人と交流できて楽しかった」「身近な場所なのに新たな発見があった」『写真展示』の鑑賞者からは「展示の仕方がカッコイイ」「見慣れた景色が違って見えた」といった声を、『懇親会』では「撮影意図を知ること写真の面白さを感じた」「次回参加したい」などの声をもらうことができ、地域の魅力発信や交流促進という目的を達成できたと評価している。

●改善点

当初、沼津未来クリエイティブ関係者を中心に呼びかけをしていたが、沼津に関心があると思われるリブランディング塾のメンバーをはじめ、広報ぬまづやSNSを用いて一般の方にも参加を呼びかけ、多様な視点や新しいアイデアを取り入れることで、事業の幅を広げる。

また、情報発信の手法やイベント運営体制についても、参加者や協力団体からのフィードバックをもとに、より効果的な方法を模索し、改善を重ねていく。